



各位

平成 26 年 10 月 10 日

会社名 キムラユニティー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 木村 幸夫
 (コード番号 9368 東証・名証第 1 部)
 問合せ先 取締役管理本部長 小山 幸弘
 TEL 052-962-7053

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 4 月 25 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

業績予想数値の修正

(1) 連結業績予想値の修正

①平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,900	720	850	480	39.77
今回修正予想 (B)	21,800	570	750	330	27.34
増減額 (B-A)	△100	△150	△100	△150	
増減率 (%)	△0.5	△20.8	△11.8	△31.3	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	19,701	785	1,021	589	48.83

②平成 27 年 3 月期通期 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,000	1,750	2,000	1,150	95.29
今回修正予想 (B)	45,200	1,700	1,900	1,000	82.86
増減額 (B-A)	200	△50	△100	△150	
増減率 (%)	0.4	△2.9	△5.0	△13.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	40,846	1,689	2,132	1,226	101.62

(2) 個別業績予想値の修正

①平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,660	330	420	220	18.23
今回修正予想 (B)	17,680	190	470	240	19.88
増減額 (B-A)	20	△140	50	20	
増減率 (%)	0.1	△42.4	11.9	9.1	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	17,370	461	593	290	24.05

②平成 27 年 3 月期通期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	36,520	1,050	1,320	720	59.66
今回修正予想（B）	36,700	1,000	1,430	810	67.11
増減額（B－A）	180	△ 50	110	90	
増減率（％）	0.5	△ 4.8	8.3	12.5	
（ご参考） 前期実績 （平成26年3月期）	35,464	983	1,445	764	63.34

（3）業績予想修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、4 月の消費税増税による駆け込み需要の反動や、天候不順の悪影響から個人消費の持ち直しが鈍いものにとどまるなど、回復の度合いにばらつきが見られたものの、雇用情勢等の改善や、政府の各種の経済政策を背景に全般的には景気は持ち直しつつある状況の一方で、新興国の景気減速や米国の金融政策、欧州などの地政学リスクの高まり等もあり、依然として不透明な状況で推移しました。

また、当社グループと関係の深い自動車業界では、消費税増税等の影響もあり、生産、販売ともに弱含みで推移しました。

このような環境の中で当社グループの業績につきましては、消費税増税の影響による物量の減少に加え、新規事業所で予想以上にコストが増加したこと等により、当初予想に比較して減益になると見込むことから、平成 26 年 4 月 25 日に公表した第 2 四半期累計期間及び通期の業績数値を修正するものであります。

なお、個別業績の第 2 四半期累計期間及び通期の経常利益、当期純利益の増益は、関係会社からの配当金が当初見込みより増加したことによるものであります。

（注）上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上